

～楽しい福祉を皆さんに!!～

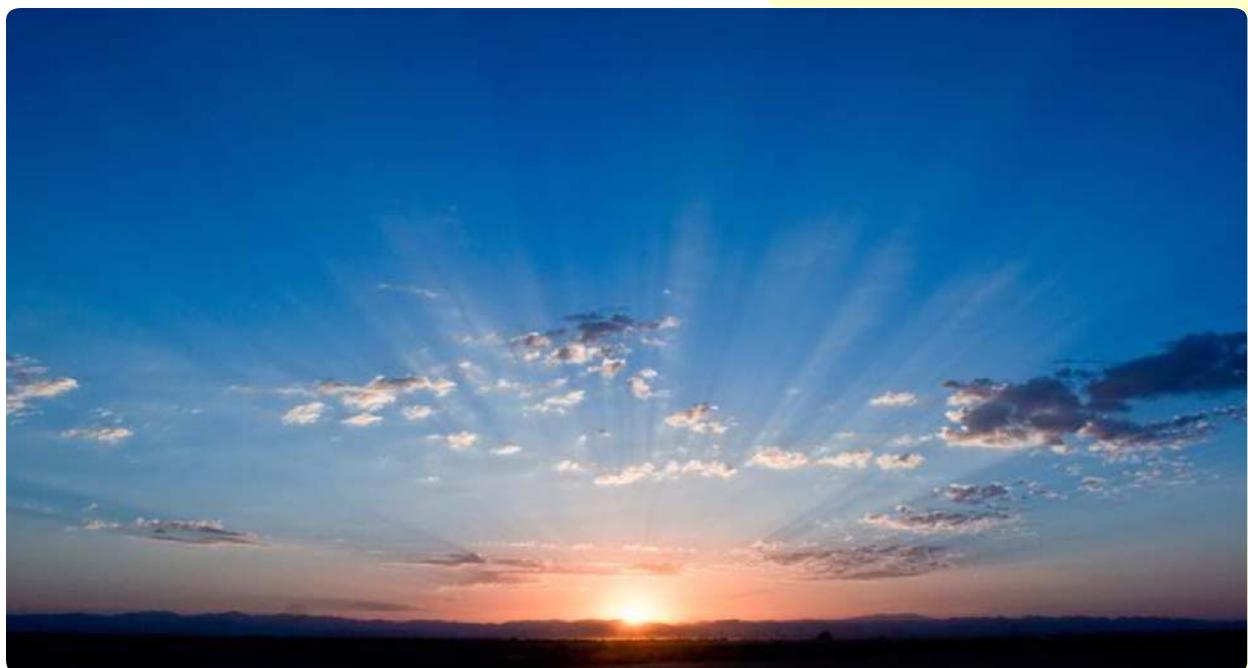
らくふく瓦版

Vol.12



【発行】
川崎市老人福祉施設事業協会
〒213-0001
川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき内
TEL : 044-812-1231 / FAX : 044-812-2077
<http://www.kawasaki-roushikyo.org/>

新年あいさつ



川崎市老人福祉施設事業協会
会長 深瀬 亮一

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましてはつ
つがなく新しい年をお迎え
のこととお慶び申し上げま
す。

昨年は12月に社会福祉法人白金会のプラチナ・ヴィラ野川が開設され、市内の特別養護老人ホームは51施設となりました。養護老人ホーム・ケアハウス・単独デイサービスと合わせ63施設を擁する協会に成長しております。これもひとえに、日頃より当協会事業等にご協力くださる法人及び施設の皆様、川崎市並びに川崎市社会福祉協議会等の関係者の方々のご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

また、川崎市においては「地域包括ケアシステム」の構築が進められております。高齢者施設として、高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らす地域づくりの一翼を担つていけば幸いです。

残念なことに、昨年は高齢者施設における心ない事件が多數報道されました。ご利用者の皆様に楽しく安心して過ごしていただけるよう、スタッフ一同、改めて気を引き締めて日々の業務に取り組んでまいります。

本年もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、皆様方の今年一年のご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

安倍政権は家族の介護を理由に離職する人をなくすため「介護離職ゼロ」を掲げました。社会的にも高齢者施設に対する期待がますます高まります。しかしながら、介護業界の慢性的な人手不足は解決の目処がたっておらず、大きな社会問題になってしまいます。さらに二〇二五年問題に向かって加速するこの課題を開拓すべく、今後も関係各位と協力してまいりたいと思います。

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.12

平成27年かわさき老人ホーム作品展に参加して ヴィラージュ虹ヶ丘



平成27年10月6日・7日・8日の3日間、川崎市民プラザで開催されました。

会場に一歩足を踏み入れると、まずは作品の多様なこ

と!!

中には、『これ、売り物じゃないの?』と思える出

じや

来栄えの作品もあり、宝船や

秋の原風景の絵画（貼り絵、

デザイン性が高い作品でした。

今年の干支である三猿（見

ざる聞かざる言わざる）や、

たくさんの羊たちが楽しんで

いる風景は、見ていてほのぼ

のとさせられるものでした。

その他、各種手芸作品やら

編み物等、飽きることのない

作品ばかりでした。

また、色とりどりのペット

ボトルのフタを巧みに使い分

けて絵を仕上げている作品も

いくつありました。

それにしても相当量の飲料

消費をしなくては、これだけ

多数のフタを集められないだ

うなと思つたり。。。

ちなみにヴィラージュ虹ヶ丘からは、各色の紙テープを巻いたパーツをひとつひとつ

貼つて作成したロールアートを出品しましたが、そのパツ作りは気の遠くなるほど根気がいるものでした。

さらに歩を進めると、各施設に割り振られたスペースに

入りきらないほど大きな作品があるかといえば、大量の作品数を誇る施設さんもいらっしゃいました。

きっとそれでも選りすぐつて出品しているのでしょうか。作品展でわれわれが見ているのは、そうしたほんの一握りでしかないのでしょうと想いました。

そして『暮らしの川柳』コーナー。しみじみと心に訴える作品あり、思わずニヤッとさせられる作品あり。ご利用者さんが、一番食い入るよう見ていたのが印象的でした。

そこで『暮らしの川柳』コーナー。しみじみと心に訴える作品あり、思わずニヤッとさせられる作品あり。ご利用者さんが、一番食い入るよう見ていたのが印象的でした。

今回初めて作品展に出品

し、各作品を見学させていた

だいたご利用者さんたちはみなさん揃って制作意欲が湧いたようでした。

こうした機会で刺激をいただけることはとてもいいことだと思います。

ありがとうございました。





～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

職員研修会開催

穏やかな看取りのための死後のケア

平成27年11月13日（金）死後のケアでは、血液・アンケートからは、「とにかくわざとらしくて扱い、グローブ・エプロン等の着用と衛生的手洗い等による感染予防対策が重要である」とを説かれました。

体液・排泄物等は感染の可能性があるとして扱い、グローブ・エプロン等の着用と衛生的手洗い等による感染予防対策が重要であることを説かれました。また、「死後の消毒を初めて知った」など多くの意見が寄せられ、高齢者福祉施設での看取り介護の在り方を再度考えさせられる有意義な研修会となりました。

まず看取りを行うに際し死後のケア」と題して開催されました。

全身清拭では次亜塩素酸ナトリウム液で消毒後、微温湯で清拭することなど、具体的な手技での創傷の措置・口腔ケア・身体の清拭・更衣等の実際について、また、外観を整える工具ゼルメイクのポイントでは「清潔で穏やかな顔に整える」「肌の乾燥を抑制する」「少量の赤みを加えた薄化粧とする」とし、死後硬直が起こる前に何かやろうと思わずには落ちついて対応するようにとのことでいた。

ご遺体への携わり方は、「死者への尊厳」「人間の基本姿勢」について、遺族ケアでは「覚悟していた死」「予期していない死」「突然の死」など死亡状況によりご家族の心理状況には違があることを、また、悲しみから回復に向かうための援助や、ご遺族の健康と心労への気遣いへの言葉掛けに気を配ること等を話されました。

異例の3時間を超えての講演でしたが、講演内容も分かりやすく終了後において質疑も活発に行われ、予定時間を超えての充実した研修となりました。



～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.12

人材育成委員会について

今年度（平成27年度）の取組み

① 介護福祉士養成校ことじまらず、大学、定時制高校等に、訪問する学校の範囲を広げて意見交換を実施し、川崎の高齢者施設に対する理解の促進を図るとともに、就職先としての魅力をアピールしました。

具体的には、川崎市福祉人材バンクとともに専門学校、大学など15校訪問し、意見交換を行いました。特に、神奈川県社協、川崎市高齢者事業推進課、福祉人材バンクとの協力により、専修大学と強いパイプができ、サテライトキャンパスでの企業説明会において市内社会福祉法人のブースを確保できることは成果として挙げられます。今後も引き続き川崎市内の法人枠を確保できればと考えています。

また、神奈川県内にとどまらず、東京都内に訪問地域を広げ、介護学科が設置されていない学校とも意見交換ができることは有意義でした。

今年度に訪問させていただいた学校は以下のとおりです。

《介護専門学校》

横浜国際、Y M C A、聖ヶ丘、町田福祉保育、アルファ医療福祉

《大 学》

東海、昭和音楽、田園調布学園、専修、国士館、東京未来

《短 大》

淑徳

《高 校》

川崎、橘、向ヶ丘工業

②

施設長会へ人材育成についてのアンケートを行いました。皆さまからいただいた意見を今後の活動に役立てていきます。

③

川崎市高齢者事業推進課と連携し、小学校の「総合的な学習の時間」における学習活動への協働的取組みとして、計画的な児童の受け入れを模索しました。具体的には、7月8日（水）に市内の2施設において25名の教員の受け入れを行いました。



また、7月30日（木）には学校における生活総合学習時間（夏季実技研修会）において施設職員が福祉施設で児童を受け入れる内容についてプレゼンを行いました。その後、先生方と人材育成委員も参加したグループワークを行い、介護業界、高齢者施設について理解を深めていたところも、現状をアピールできる場となりました。

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 春日会
特別養護老人ホーム 等々力

〒211-0051
川崎市中原区宮内4-19-26
TEL:044-753-2260 / FAX:044-753-2261

とどろきは平成16年4月から「安全・安心・敬意」を理念として事業運営を開始しています。近くには等々力緑地があり、春には桜、秋には銀杏の紅葉が楽しめるなど四季を感じる事ができます。

また、サッカーの季節になりますと、サポートーの声が聞こえきます。地域住民のご理解とご協力をいただきながら行う納涼祭・御神輿・獅子舞などの行事などは、地域住民の方々と触れ合う機会となっています。書道クラブなどの活動もボランティアさんのご協力を得てとても楽しい時間をお過ごすことができています。

また、職員とご家族を中心となり月1回開催する喫茶店はとても人気があり、ご家族と入居者様が団欒する姿が見受けられます。入居者様同志の会話もいつもと違い笑顔が溢れる中での開催となっています。

喫茶店で提供するケーキ等は障がい者団体から購入しています。とても美味しいと評判の人気のケーキです。入居者の皆様が一番楽しみしているのは、月1回の「もの里保育園」との交流会です。園児の姿に満面の笑みでお迎えする姿はとても微笑ましいものです。最後には園児一人ひとりとハイタッチをするのが恒例となっています。

また、サッカーの季節になりますと、サポートーの声が聞こえます。地域住民のご理解とご協力をいただきながら行う納涼祭・御神輿・獅子舞などの行事などは、地域住民の方々と触れ合う機会となっています。書道クラブなどの活動もボランティアさんのご協力を得てとても楽しい時間を過ごすことができるのです。最後には園児一人ひとりとハイタッチをするのが恒例となっています。



【施設外観】



【とどろき緑地に散歩】



【春日神社も御神輿来設】

今後も職員は入居者様が楽しそう、いつまでも元気に生活をしていただけるよう努力をしていきます。また、当施設が地域住民の皆様やご家族から愛され親しまれる施設を目指し今後も取り組みを継続していく予定です。



【もの里の保育園児ともちつき】

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 藤英会
特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘

〒215-0013
川崎市麻生区王禅寺1241-38
TEL:044-955-1746 / FAX:044-955-1730

この3つの言葉に主語をつけていきます。
「のびのび 明るく 穏やかな暮らし」の施設理念を全職員が目指しています。

特養はユニット型36名、従来型84名と同じ施設に合築になつてありますからご入居を考えるご家族が多床室か個室を選べることが強みとなつています。

特養120名、ショートステイ20名、デイサービス30名、居宅介護支援事業所があります。

潮見台みどりの丘は平成22年6月に開設しました。



《施設中庭》

「ご入居者様はのびのび暮らしていらっしゃいます。」「ご入居者様は明るく暮らしています。」「ご入居者様は穏やかに暮らしていますか。」

そしてこの主語が「ご家族様」「職員」と変えていきます。
一見簡単な言葉でも実現となるとても難しいことですか。

この施設理念を実現することができる道です。

みどりの丘をお入り頂くと「これが特養ですか・・・。」などなたも異口同音にあつしゃいます。

綺麗で贅沢な空間、おおきな窓から降り注ぐ明るい陽射し、やさしい木目「まるでホテルみたい」と言葉はづきます。

この恵まれた環境はご入居の方をはじめショートステイやデイサービスを使う利用者様に満足して頂いています。

建物に負けないサービスができるようにと開設当時から接遇マナーの向上にも力を入れてきました。

川崎で一番きれいな施設、川崎で一番挨拶ができる施設と地域の方に言って頂き、愛される施設となるよう努力していくたいと思つます。



《お花見》



《イルミネーション》

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 春日会
特別養護老人ホーム いせうら

〒211-0013
川崎市中原区上平間1251-2
TEL:044-540-3135 / FAX:044-540-3137

事業は、入所28床、短期入所2床、認知症対応型デイサービス12名、そして、地域の方々が利用される地域交流室があります。

昔の上平間地区は、田んぼと原っぱのどかな土地で、隣りの平間公園は、小川が流れています。子供達がザリガニ釣りをして遊んでいたそうです。施設のあたりからは、南武線や富士山が見えていたと地域の方から話を伺いました。

地域密着型特別養護老人ホームいせうらは、平成22年11月に中原区上平間に開設した全室個室ユニット型の施設です。



地域交流室は、老人クラブの活動や地域の方の趣味の活動など、様々な活動に利用して頂き、地域の交流の架け橋を目指しています。毎月第3水曜日に活動している中原区子育てサロン（玉川地区）では、0歳児親子と入居者様との交流が行われています。参加される入居者様は、子育てをしていた頃を思い出し、子供の無邪気な笑顔に癒されるひとときを過されています。

最後に当法人の理念である「安全・安心・敬意」を基に、入居者様が笑顔と温かさがある生活が出来る様に職員一同頑張ってまいります。



福祉施設のご紹介

社会福祉法人 春日会
地域密着型特別養護老人ホーム せせらぎ

〒211-0041
川崎市中原区下小田中60-30-32
TEL:044-752-7755 / FAX:044-752-7754

「せせらぎ」は、平成23年11月1日に開設した地域密着型特別養護老人ホームです。今年で五年目を迎えます。

閑静な住宅街に位置し、目の前には武藏新城駅からつながる、「江川せせらぎ遊歩道」があり、季節に応じた花を楽しめ皆さんのが散歩コースとなっています。

3階建ての一階には地域交流室があり、地域の方が自由に使用できるスペースとなっています。町会や老人会の集まり、書道、手芸のクラブ活動などさまざまな団体様にご利用いただいてあります。入居者の方も参加させて頂き、地域の方がたと触れ合う機会にもなっています。



《江川せせらぎ遊歩道散歩》



《江川せせらぎ遊歩道の河津桜（明津桜）》



《たまにカルガモが遊びに来ます。》

「せせらぎ」には、「あいもうる」・「ほうせい」・「ブレーメン」・「オズ」の4つのユニットがあります。どこかで聞いたような名前ですが、施設近隣の商店街の名前です。施設を一つの町という考え方で、部屋も番号ではなく、オズ一丁目の一番地等住所形式で表示しています。

入居者の方が楽しみにされる入浴。個浴には、檜風呂があります。一人は入れる大きな浴槽です（一人入浴ですが）。檜の香りが好評です。



《せせらぎ開設記念ボウリング大会》

に最後まで満足して頂けるように、たくさんの笑顔と笑い声が聞かれる施設を目指し、職員一同がんばってまいります。

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 川崎市事業団
特別養護老人ホーム 片平長寿の里

〒215-0023
川崎市麻生区片平1829
TEL:044-455-4188 / FAX:044-455-4190

特別養護老人ホーム片平長寿の里は、2011年4月に開所しました。今度の4月で丸5年を迎えます。麻生区と町田市のほぼ境にあり、緑に囲まれ、昔ながらの畑作風景が残る、豊かな自然環境が自慢の施設です。施設裏の斜面には竹林や高さ10m以上の高木も多く、春には鶯の鳴き声も聞こえ、夕暮れはもとより野生の雉が時折遊びに来てくれます。

入所定員は130名。そのうち多床室を中心とした従来型が90名、全室個室のユニット型が40名となつてあり、入居者やご家族の希望により入居場所を選択できるようになっています。

やや駅から離れた場所にあり、決して交通の便が良いとは言えませんが、毎日たくさんのご家族が面

会にいらして下さり、喫茶談話コーナーでお菓子を食べながらお話ししたり、音楽を聴いたり、窓越しの緑を見ながらのんびりと過ごされています。ボランティアの方も決して多くはありませんが、近隣の保育園の園児さんたちや傾聴ボランティアさんが毎月来所され、入居者の皆さんと交流していくことがあります。また、昨年より昭和音楽大学の学生さんが音楽療法実習で毎週金曜日に来所され、毎回50名近くの方が参加して音楽を楽しんでいます。さらに、夏には裏山から切りだした竹を使用しての流しそうめん、多くのボランティアに協力していただき開催する夏祭り、ご家族と一緒に楽しんでいたり敬老会や早春会等の行事も開催しているほか。

開所からあつという間の5年でした。まだまだ近隣の先輩施設の皆さんには追いつけませんが、今後はより地域の方に役立つ施設となれるよう、職員一同気持ちを新たに前進していくたいと考えております。



～楽しい福祉を皆さんに!!～

Vol.12

らくふく瓦版

第28回川崎市老人福祉施設研究発表会の開催について

主 催：川崎市老人福祉施設事業協会 社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

日 時：平成28年2月26日（金）午後1時30分～4時30分

場 所：川崎市総合福祉センター 7階大会議室

発表方法：パワーポイント使用による学会方式・1発表15分（準備・質疑応答含む）

第28回 川崎市老人福祉施設研究発表会 演題一覧

発表No.1 介護老人福祉施設 鶯ヶ峯

演 題：褥創ゼロを目指して！！

発表No.2 特別養護老人ホーム クロスハート幸・川崎

演 題：特別養護老人ホームにおける口腔機能管理の取り組み

発表No.3 特別養護老人ホーム 生田広場

演 題：特別養護老人ホームにおける多職種連携の在り方の一考察

発表No.4 養護老人ホーム すえなが

演 題：3. 11から学んだこと

発表No.5 ケアハウス 青田風

演 題：機能訓練指導員としての関わり

今年も、魅力ある紙面作りに広報委員一同頑張つてまいります。よろしくお願いいたしま

2年後には診療報酬・介護報酬のダブル改定となり、下がることはあるても上がるとは決してない等と囁かれ、予断を許さない状況が続きます。

「らくふく瓦版第12号」では、会長の年頭挨拶・施設紹介の他、文化事業（作品展）・人材育成・研修報告等を掲載いたしました。

昨年4月の介護保険制度改正・介護報酬改定など厳しい現状ですが、皆様の施設では如何でしょうか。

1月に入り小春日和の毎日が続き暖かな毎日でした。が、ここにきて寒さも一段と厳しく、各地の雪の便りも聞かれるようになります。

編集後記